



## 〈行政の動向〉

- ・大学における教育内容等の改革状況について（平成 25 年度）  
[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/daigaku/04052801/1361916.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/daigaku/04052801/1361916.htm)

## 〈文献〉

- ・大下和茂ら「運動習慣を有する大学生の筋力トレーニング被指導経験とスクワットに関する認識との関係」体育学研究（早期公開）2015年8月25日.
- ・中須賀 巧ら「体育授業における動機づけ雰囲気が生徒の結果予期に与える影響」体育学研究（早期公開）2015年7月16日.
- ・須崎康臣ら「大学生の体育適応感が学校適応感に及ぼす影響：自己調整学習の視点から」体育学研究（早期公開）2015年7月9日.
- ・井谷恵子「『子どもの体力向上』をめぐるローカル・ポリティクス の検討：東京都，及び大阪府の状況に注目して」体育学研究（早期公開）2015年6月12日.
- ・大平誠也ら「歩数計を用いたセルフモニタリングが児童の歩数および運動有能感にもたらす効果」法政大学スポーツ研究センター紀要 33,pp.21-25.
- ・鈴木郁弥ら「大学生競技者における栄養摂取行動の変容ステージの実態調査」法政大学スポーツ研究センター紀要 33,pp.33-36.
- ・津野千尋ら「大学生における月経前症状に関するコミュニケーション」法政大学スポーツ研究センター紀要 33,pp.27-31.
- ・中野陽太ら「大学生競技者における理想のリーダー像・サブリーダー像の性差」法政大学スポーツ研究センター紀要 33,pp.37-39.
- ・米丸健太ら「日本人大学生アスリートに認知された競技環境の構造に関する探索的研究」法政大学スポーツ研究センター紀要 33,pp.7-13.
- ・中澤史ら「短期集中型のスポーツ演習による受講生の社会的スキル向上効果」法政大学スポーツ研究センター紀要 33,pp.1-5.
- ・杉本龍勇ら「体力に関する主観的評価がスポーツ実施に対する動機付けに及ぼす影響」法政大学スポーツ研究センター紀要 33,pp.15-20.

## 〈学会・研修会等〉

- ・第 1 回 カレッジ・スポーツ・シンポジウム、10 月 17 日（土）、日本大学文理学部
- ・中四国支部講演会、11 月 11 日（水）、岡山大学
- ・大学教育学会 2015 年度課題研究集会、11 月 28 日（土）～29 日（日）、岩手大学ほか
- ・日本野球科学研究会第 3 回大会、12 月 12 日（土）～13 日（日）、中京大学名古屋キャンパス
- ・第 4 回大学体育研究フォーラム、平成 28 年 2 月 29 日（月）～3 月 1 日（火）、筑波大学東京キャンパス文京校舎
- ・九州地区大学体育連合 平成 27 年度春期研修会「体育・スポーツ・健康に関する教育研究会議」、平成 28 年 3 月 5 日（土）～3 月 6 日（日）、長崎国際大学

＜編集後記：ラグビーの日本代表が、これまで着々と積み重ねてきた強化が実を結びワールドカップで活躍しています。日本で開催される世界大会での更なる活躍を期待するとともに、体育人としてそのほかの競技も含めて支えていきましょう。 田原 亮二（名桜大学）＞